

自然観察NOW

NO : 21

野幌森林公園自然情報

発行 : 2017年6月4日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://hokkaidou.me/volaren/>

新緑の森を楽しもう

北海道は今、新緑の季節です。野幌森林公園の散歩道は、ホオノキやハルニレ、シナノキなどの若葉に覆われ、足元にはクルマバソウやマイヅルソウ、ホウチャクソウ、サイハイランなど様々な花が咲き乱れています。緑あざやかなシダ植物も見ごろを迎えており、森の中の散歩が一年のなかでもっとも楽しい季節です。

植物にとって、花を咲かせることは、次代に命をつなぐための一番大切な営みです。それぞれの植物が命をつなぐためにいろいろな工夫や苦勞をしています。また、人間は植物を燃料や食料、建築材料などさまざまに利用してきました。植物の名前だけではなく、その生態や植物から授けられてきたさまざまな恩恵を知ることで、森の散歩の楽しさはずっともっと増してきます。

以下に、今、野幌森林公園で見られる花のいくつかを紹介しますので、その一助としていただければ幸いです。

バイケイソウ



バイケイソウは、単子葉類シュロソウ科(旧ユリ科;分類法については後述)の多年生植物で、花が梅に、葉がケイラン(ランの一種)に似ていることから名づけられました。

全草に毒を含み、根は便所のウジ殺しなどの殺虫剤として使われていました。毒をもって毒を制するという言葉のとおり、解熱剤としても用いられていたようです。

アイヌの人たちはこの植物を、シクブキナ(成長する草)と呼んでいました。この名のとおり、春先の芽生えからの成長は驚くほど速く、六月になると一メートルを超えるほどになり、黄緑色の花を総状に咲かせます。

春先からの成長はきわめて速いのですが、発芽してから開花にいたるまでの成長はきわめて遅く、ある研究によれば、一枚葉だけの期間でも40年、開花までに90年以上かかるとされています。

バイケイソウが生育する環境は林床にあり、六月を過ぎて林床に届く光が弱くなると成長は止まってしまう。開花できるだけの養分をためるには気の遠くなるような辛抱が必要だということを表しています。林床で育つ植物には、このような例は決してまれではありません。

クルマバソウ・オククルマムグラ

足下に目をやると、地面から二十センチほどの高さに、小さな白い花が道端のいたるところに咲いています。葉のつき方をみると、6~8枚の葉が、茎の周りを取り囲むように輪になってついています。このような葉のつき方を輪生といいます。植物の葉のつき方も、種類を決める(同定)手がかりの一つになります。



クルマバソウ



オククルマムグラ

もしその葉が7枚以上であれば、クルマバソウ、6枚であればオククルマムグラの可能性が高くなります。ただし、いずれの葉も本葉は2枚で、他は托葉です。

両者を区別するためには、まず茎に触れてみてください。ともに四角形ですが、ザラザラした感触があればオククルマムグラ、ツルツルしていればクルマバソウです。さらに、花の形を見ると、クルマバソウは漏斗状、オククルマムグラは皿状になっています。

クルマバソウはアカネ科の植物(オククルマムグラも)で、学名は *Asperura odorata* です。属名のアスペルラは「葉が粗い」、小種名のオドラータは「芳香ある」を意味します。事実、クルマバソウを乾かすと桜餅のような良い香りがします。これは全草に、サクラの葉と同様、クマリンという物質が含まれているため、西洋ではワインの香りづけに利用されていました。

ホウチャクソウ・オオアマドコロ



ホウチャクソウ



オオアマドコロ

ホウチャクソウとオオアマドコロは従来の分類体系(新エングレー分類体系)では、ともにユリ科でしたが、APG分類体系によれば、前者がイヌサフラン科、後者がキジカクシ科となっています。

ホウチャクソウには毒があるので、よく似たユキザサ(アズキナ)と間違えて食べないように注意しなければなりません。見分け方のコツは、葉と茎と花を比べてみることです。ホウチャクソウについて言えば、葉には毛なく、茎は分岐し、花は筒状で枝先に2~3個つきます。ユキザサの葉には毛があり、茎は分岐せず、円錐花序に白色の小さな花を多数つけます。

ホウチャクソウの名前は、花の形がお寺などの軒に吊るしてある宝鐸(ほうたく)に似ていることから来ています。

オオアマドコロはホウチャクソウと似たような環境に、同じ時期に花をつけます。ホウチャクソウより、草丈が一回り大きく、葉腋ごとに数か所筒状の花を咲かせます。

オオアマドコロの花には二種類があり、茎の上部には雄花、下部には両性花をつけます。その理由として、上部は栄養不足になりやすいため、両性花をつけても結実できないためと考えられています。

(文責：北海道ボランティア・レンジャー協議会 三輪礼二郎)

今後の観察会等の予定

6月18日；10：00～12：30	「北広島レクの森観察会」	集合場所；レクの森駐車場
6月29日；10：00～12：30	「オオハンゴンソウ防除」	集合場所；自然ふれあい交流館
7月7日；10：00～14：30	「三角山登山観察会」	集合場所；山の手緑化会登山口
8月3日；10：00～13：30	「夏の森の観察会」	集合場所；開拓の村前